

平成32年度(2020年度)からの

丹後の府立高校の新しいカタチについて

平成32年度(2020年度)からの丹後の府立高校の新しいカタチについて、11月11日、17日、18日の3日間、説明会を開催したところ、多くの児童・生徒や保護者のみなさんにご参加いただき、ありがとうございました。

説明会でいただいたご質問への答えをまとめましたので、参考にしてください。



京都府教育委員会

〒602-8570

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府教育庁指導部高校教育課

☎075-414-5857



説明会の内容は、
高校教育課のHP
で見ることができ
ます♪



説明会参加者数(3日間計)

参加者540名のうち、323名(児童・生徒48名、保護者196名、その他79名)にアンケートにお答えいただきました。

(内訳)

○説明会の内容について

よく理解できた、概ね理解できた…250名(児童・生徒38名、保護者151名、その他61名)
わからなかった…………… 34名(児童・生徒6名、保護者25名、その他3名)

○質問者数

75名(児童・生徒7名、保護者40名、その他28名)

いただいた質問へのお答え

No.	質問者	質問内容
1	生徒 保護者等 (お答え)	フレックス学園構想にもとづく新設高校(単位制総合学科)では3年制と4年制がありますが、授業は一緒に行うのですか。また、途中からの変更は可能ですか。(3年制でスタートしたが、学習ペースが合わずに4年制に変更するなど) 教育課程については現在検討中です。基本的には、3年制と4年制で卒業までに学ぶ教科・科目は同じですが、それらを学ぶ学年が異なる場合があります。また、1年ごとに取得すべき単位数は3年制の方が多くなります。授業の開講方法や3年制と4年制の選択時期、途中での変更等、詳細については検討中のため、決定次第、広くお知らせします。
2	保護者等 (お答え)	フレックス学園構想にもとづく新設校の具体的な教育内容はどのようなものですか。(調理とは具体的に何をするのですか)又、地域連携では、道の駅などの連携も考えるのですか。 様々な関係機関と連携した教育活動を実施することを検討していますが、詳細については決定次第、広くお知らせします。
3	保護者等 (お答え)	学舎制について、部活動でのメリットは理解できますが、学習面のメリット・デメリットには、どのようなものがありますか。 1校あたりの生徒数が減少すると法律等により、教員給与の財源となる地方交付税が減ることとなり、教員数は減らざるをえなくなります。教員が減れば開講できる講座数が減ってしまいます。それをカバーするため、「学舎」では、遠隔教育システムを活用し、両方の「学舎」でそうした講座を選択できるようになります。また、様々な教育活動のなかで「学舎」間の連携を行いますので、より多くの生徒と交流する機会が増えます。

No.	質問者	質問内容
4	保護者等 (お答え)	<p>学舎から学舎への編入はできるのでしょうか。</p> <p>原則「学舎」間での編入はできません。それぞれの「学舎」では、それぞれの特色に応じた「学舎」独自の教育課程で学びます。(学科が異なる場合はもちろん、同じ学科であっても卒業までに学ぶ教科・科目やその単位数が異なります。)また、そのために入学者選抜についても「学舎」ごとに選抜することとなります。</p>
5	保護者等 (お答え)	<p>教員は学舎間で移動するのですか。</p> <p>教科・科目により移動する場合があります。詳細については、現在検討中のため、決定次第、広くお知らせいたします。</p>
6	保護者等 (お答え)	<p>授業の評価は学舎ごとで行われるのですか。</p> <p>「学舎」ごとに独自の教育課程を編成し、各教科・科目の授業が行われます。したがって、評価については各「学舎」ごとに行われることとなります。</p>
7	保護者等 (お答え)	<p>宮津学舎、加悦谷学舎は両方とも普通科が設置されますが、学舎ごとで学ぶ内容等は違うのですか。</p> <p>「学舎」はこれまで各高校が培ってきた魅力をより発展させていくもので、それぞれの「学舎」は独自の教育課程を編成して授業等を行います。 宮津学舎、加悦谷学舎ではどちらも普通科が設置されますが、それぞれが持つ魅力を知っていただいた上で、どの「学舎」に志願されるかご検討ください。</p>
8	保護者等 (お答え)	<p>加悦谷高校の少人数指導の具体的な方法はどのようなものですか。</p> <p>詳細は現在検討中ですが、現時点での検討状況等をお知りになりたい場合は、加悦谷高校にお問い合わせください。</p>
9	保護者等 (お答え)	<p>宮津高校の建築科は存続するのでしょうか。</p> <p>現在宮津高校に設置している建築科は、平成32年度「学舎」導入時には、引き続き宮津学舎に設置します。</p>
10	保護者等 (お答え)	<p>久美浜高校は単位制総合学科ではなくなるということですか。</p> <p>久美浜学舎では、総合学科から普通科系のその他専門学科「みらいクリエイト科」と農業に関する学科「アグリサイエンス科」に学科改編を行います。</p>
11	生徒 (お答え)	<p>久美浜学舎のみらいクリエイト科は他校の普通科とどう違うのですか。卒業後の進路についてはどのようになりますか。これまでの総合学科の良さもあると思いますが、それらは引き継がれるのですか。</p> <p>みらいクリエイト科では大学や地元企業などと連携した取組や大学進学に対応した教育、専門性の高い探究活動、福祉に関する教育活動の実施を検討しています。これまで培ってきた教育実践の良い部分をさらに充実していきます。詳細については改めてお知らせしますが、現時点での検討状況等をお知りになりたい場合は、久美浜高校にお問い合わせください。</p>
12	保護者等 (お答え)	<p>学舎制の高校で、統一されるのは「高校名」「制服」の他、「校歌」「校章」なども含まれるのですか。また、高校名は同じでも教育目標やカリキュラムは学舎ごとに違うのですか。</p> <p>「学舎」導入校は2つの「学舎」が1つの高校になります。「校名」だけでなく、「校歌」「校章」「制服」も含めて1つの学校としてどのようにするかを検討しています。1つの学校の中にそれぞれ特色を持った「学舎」を設置するということから、教育目標やカリキュラムは、「学舎」ごとに定めることとなります。</p>
13	保護者等 (お答え)	<p>平成31年度の入学生が留年した時はどうなりますか。</p> <p>基本的には生徒の皆さんが努力することが大切です。高校としても留年しないように指導をしますが、欠席日数や個々の様々な事情で留年した場合、その際の個々の状況を検討した上で、対応することとなります。原則として、高校としては入学した学校で卒業できるよう指導します。</p>
14	保護者等 (お答え)	<p>進路指導について、詳しく説明してください。</p> <p>進路指導の方法や進め方等は学校、「学舎」ごとに異なります。詳しくは、各高校にお問い合わせください。</p>

No.	質問者	質問内容
15	保護者等 (お答え)	<p>学校統合により浮いたお金を、例えば外国とのオンライン英語学習システムなどに回してはどうですか。</p> <p>丹後の府立高校の新しいカタチは、財政的なメリットを生み出すものではなく、より良い教育環境にするためのものですので、英語教育をはじめ、今後も引き続き教育環境の整備に努めてまいります。</p>
16	生徒 保護者等 (お答え)	<p>遠隔教育では一人の先生が授業をするのですか。 遠隔教育での授業の場合、両方の教室に教科の先生がいてくださるのですか。</p> <p>遠隔教育システムによる授業では、授業を担当する教員がいない方の教室にも教員（その教科の教員とは限りません。）が入ります。システムやタブレットを活用し、教員が連携しながらどちらの教室の生徒に対しても同じ授業を行えるようにします。</p>
17	保護者等 (お答え)	<p>遠隔教育はあまり効果があると感じませんが、どの教科で行うのでしょうか。</p> <p>基本は、それぞれの「学舎」での授業を行います。全ての教科・科目で遠隔授業が行われるものではありません。遠隔教育システムは、片方の「学舎」でしか開講できない授業をもう片方の「学舎」の生徒が受講したり、一緒に学ぶことが有効な教科・科目を受講するなど「学舎」間で連携することで教育効果が上がる場合などに活用します。現在、それぞれの「学舎」導入校で、遠隔教育システムを活用する教科・科目などを検討しています。魅力ある新しい学びのスタイルとして生徒の力をしっかりと育成できるものにしていきます。</p>
18	保護者等 (お答え)	<p>学舎間の遠隔授業等による科目履修は柔軟に対応してもらえるのですか。（大学進学を考えた時、履修しないといけない科目がその学舎にはなかった時など。） 一人一人の子どもたちの理解のスピード等、個人差に対して、フォローはしっかりとさせていただけるのでしょうか。</p> <p>各「学舎」では、遠隔教育システムによる授業を含め特色ある教育課程を編成しますが、必ずしも全ての希望に沿った科目を設置できるわけではないことをご理解ください。一人一人の生徒が学ぼうとする思いに全力で応えていくよう努めてまいります。</p>
19	生徒 (お答え)	<p>タブレットは自分たちで買わなければならないのですか。</p> <p>遠隔教育システムにかかわるタブレットについては、公費で配備します。</p>
20	保護者等 (お答え)	<p>I C Tを導入するにあたり、プライバシーやセキュリティについては、どう考えられますか。</p> <p>プライバシーへの配慮やセキュリティの確保に向けての取組を行います。</p>
21	保護者等 (お答え)	<p>遠隔教育システムは学舎制が始まってからの入学生のみに対して行われるのですか。現中学3年生以上の生徒は全く行われないのですか。</p> <p>遠隔教育システムは、「学舎」導入に際しての特色ある教育活動です。システムの機器については、今年度中に各学舎に2教室ずつ配置し、全国に先駆けたシステムの構築に向け準備していきます。このシステムは、授業だけでなく、補習や部活動などにも活用できます。「学舎」導入校の生徒だけでなく、現行の高校の生徒の活用についても検討していきます。</p>
22	保護者等 (お答え)	<p>英語の遠隔システムの映像ですが、あの状態が英語力向上に役立つとは思えません。ただのパフォーマンスではないですか。</p> <p>今回の映像は、あくまでも遠隔教育システムの機器についての試行として夏休みに撮影したものであり、説明会でこの映像を見る中学生にも理解できるよう配慮しています。引き続き遠隔教育システムが新しい学びのスタイルとして全国に先駆けたシステムとなるよう検討していきます。</p>
23	生徒 (お答え)	<p>弥栄分校とフレックス学園構想にもとづく新設高校が併置している間は、授業は別々ですが、生徒会活動をはじめ、学校行事等はどうなりますか。一緒にするのでしょうか。</p> <p>基本的には別々での教育活動となりますが、生徒会活動や学校行事、部活動などで一緒に活動していくことも検討しています。</p>

No.	質問者	質問内容
24	保護者等 (お答え)	<p>学舎が導入された時、現高校の2、3年生との関係はどうなりますか。部活動が合同になるということは、行事、生徒会活動も合同なのでしょうか。</p> <p>「学舎」が導入され、現高校の生徒が在籍している間は、「学舎」導入校のそれぞれの学舎とその「学舎」がある現高校の教育活動は合同で行っていく予定です。運動部活動と同様、学校行事や生徒会活動等についても、「学舎」と現高校の生徒と一緒に進めていきます。</p>
25	保護者等 (お答え)	<p>学舎では、入学式、卒業式は合同ですか。学校行事はどのように開催されるのですか。加悦谷学舎、宮津学舎は、行事の合同実施はないという理解でよろしいですか。</p> <p>入学式、卒業式を「学舎」合同か、「学舎」毎で行うかということを含めて、「学舎」導入校では、より効果のある教育活動を展開していくためにも、行事の実施について検討しています。今回の説明会では検討の途中段階をお伝えしたもので、今後決定次第、広くお知らせします。</p>
26	保護者等 (お答え)	<p>修学旅行は学舎ごとに行われるのですか。</p> <p>各「学舎」導入校で検討中です。決定次第、広くお知らせします。</p>
27	保護者等 (お答え)	<p>学舎において、PTA活動、生徒会活動、校則はどうなりますか。</p> <p>現在検討中です。 決定次第、広くお知らせいたします。</p>
28	保護者等 (お答え)	<p>宮津・加悦谷学舎で、文化系部活動も人数が少なくて活動できない。部活は合同練習を平成32年度からスタートしてもらえないでしょうか。</p> <p>各「学舎」導入校での文化系部活動の合同実施についても検討中です。</p>
29	保護者等 (お答え)	<p>学舎の場合、部活動が合同になりますが、網野にはあって久美浜には無い場合はどうなりますか。久美浜に通学していて、久美浜に無い部活動を網野ですることはできますか。</p> <p>設置している部活動の持つ特殊性、教員の顧問配置の問題や安全面等を考慮して、それぞれの「学舎」導入校で決定します。予定では、網野・久美浜においては、一方の「学舎」にしかない部活動への他方からの参加の可否を協議の上、決定することとしています。</p>
30	保護者等 (お答え)	<p>団体種目の大会参加について、新しい学舎制での入学生徒が1年、2年、3年と揃ってからしか全国大会を目指すことのできる資格は取れないということですか。学舎制の生徒と現行の生徒が一緒のチームで出場することはできますか。</p> <p>説明会資料の13にあるように平成32年度は、「宮津高校と宮津学舎」（同様に「加悦谷高校と加悦谷学舎」、「網野高校と網野学舎」、「久美浜高校と久美浜学舎」）を一つの学校として、平成33年度は、「宮津高校・宮津学舎・加悦谷高校・加悦谷学舎」（同様に、「網野高校・網野学舎・久美浜高校・久美浜学舎」）を一つの学校として登録する予定です。現行の高校と「学舎」導入校の生徒が一緒のチームとして出場し、1つの学校として全国大会等の上位大会を目指すこととなります。</p>
31	生徒 (お答え)	<p>部活動でも上部団体で合同チームも認められつつあると聞いていますが、どうですか。</p> <p>全国高等学校体育連盟では、部員不足に伴う合同チームの全国大会への参加は認めていないとのことです。府大会への参加については、合同チームが成果を発表できる場としての出場を認めています。</p>
32	保護者等 (お答え)	<p>現中学3年生は高校2年生の夏までは単独で部活動を実施し、秋から合同となるとのことですが、チーム名はどのように出場することになりますか。</p> <p>統廃合に関わる合同チームの名称については、例えば全国高等学校体育連盟では、「網野高校・久美浜高校・〇〇高校」のように合同となる学校名を併記すると定めています。各団体の規定に定めている形になります。</p>

No.	質問者	質問内容
33	保護者等	現在は宮津、加悦谷がそれぞれ独立して出場している部が合同になることでレギュラーになれる子が半減してしまいます。それぞれの学舎でチームを編成することは無理なのでしょうか。
	(お答え)	生徒数が減少するなか、部員数を確保できず試合に出ることができなくなっている部活動が出てきています。今後、生徒の活動機会を保障するために、2つの学校を1つの学校として「学舎」が合同でチーム編成することとしています。
34	保護者等	間人分校に進学した生徒（現中学3年生）は、平成32年度から合同チーム（弥栄、伊根）を編成することは可能でしょうか。
	(お答え)	全国高等学校体育連盟の規定では、全日制課程と定時制課程の混成は認められていません。したがって、定時制課程の間人分校と伊根分校との合同は可能ですが、間人分校や伊根分校と全日制の弥栄分校との合同はできません。
35	生徒	新しい部活動をつくることはできるのですか。
	(お答え)	部活動の設置、廃止については各校が決定するものです。具体的には各校にお問い合わせください。
36	保護者等	資料に、休日に両学舎合同で部活動を実施する旨の表記がありますが、休日に部活動を行うことが前提であることに何の問題も感じておられないことに恐ろしさを感じます。政府や文科省が「働き方改革」と言っていることに完全に逆行しています。学校5日制導入の際の目的からも大きく外れていると思います。このことをどう考えておられますか。
	(お答え)	部活動は、平成30年3月公示の新学習指導要領においてその意義について定められているところです。また「持続可能な運営体制が整えられるようにする」と示されています。このような意義を踏まえた上で、生徒が減少する中で生徒たちの活動を保障する意味からも「学舎」を導入するものです。一方、部活動が教員の負担となっているとともに、生徒にとっても休養日がなく身体的・精神的な負担となっていると指摘されています。そこで京都府として「京都府部活動指導指針」を策定し、顧問の複数配置や勤務時間管理についても示しています。例えば、高校では休養日を週当たり1日以上（月当たり2回程度、土・日曜日に設定するのが望ましい）と示しています。両学舎の教員が協力し、その専門性を活かす形での指導が可能となるのも、「学舎」導入のメリットでもあります。
37	保護者等	学舎の部活動における合同練習の経費負担についてはどこで提示されますか。（府教委HP、各校のHPなど）
	(お答え)	高校が事前に計画する部活動での「学舎」間移動では、経費負担はありません。詳細は、府教育委員会として、決定次第、広くお知らせします。
38	生徒	A学舎の生徒がB学舎で部活動をした時、帰りもA学舎まで送ってもらえるのですか。
	(お答え)	「学舎」間移動は往復を前提としていますが、往路のみ活用したいと考える生徒も想定していますので、柔軟な対応ができるよう検討していきます。
39	保護者等	加悦谷高校から宮津高校へ移動して部活動を行う場合、宮津高校での部活動の後、宮津から丹鉄で帰ると定期でまかなえないため不足分は自己負担となりませんか。丹鉄（与謝野駅）～加悦谷高校は自転車での移動と考えると、出発は駅が良いのではないですか。
	(お答え)	ご指摘のような事例も踏まえ、現在検討中です。
40	保護者等	学舎間の移動を保障するとありましたが、本当にこの距離や冬期の雪などの条件をクリアして有効で実用的な運行ができるのでしょうか。机上でのプランではなく、実際のシミュレーションを十分にし、いろんな例に対応できるシステムが作れるのでしょうか。財政面、物理的な課題がクリアできますか。
	(お答え)	切実な問題として捉えており、生徒にとって良いものとなるよう努めてまいります。

No.	質問者	質問内容
41	保護者等 (お答え)	部活動の学舎間の移動はマイクロバス等を用意されるのですか。練習試合等でも使えるのですか。 学校が事前に計画する部活動での「学舎」間移動については、交通費が発生しないように配慮していきますが、公式戦や練習試合を想定しているものではありません。
42	保護者等 (お答え)	部活動の合同練習の交通費は負担させないと説明がありましたが、実際どのようにしていくのですか。マイクロバスですか。スクールバス等に対応するなら、学舎制でなくスクールバス対応で1校で対応できるのではないのでしょうか。練習時間は平日何時間とってもらえるのでしょうか。その移動は、お互いが行き来するなら平等ですが、片方の学舎生徒のみ負担になると不公平になります。 現在検討中です。 それぞれの部活動にとって、より活動しやすい「学舎」を活動場所とする予定ですので、どちらの「学舎」の生徒が移動するかは、部活動によって異なります。
43	保護者等 (お答え)	学舎間の移動が具体的に決まっていらないのに、費用がかからないと言い切れるのはなぜですか。この間、たくさんの質問があつたり、いい形での移動の実現は困難であるというやりとりが保護者や関係者から出され、府教委も何年も答えを出せなかったと思うのですが。ホームページに以前お示しされたようにスクールバスを設置するというのであれば、何故、今回そのように説明しなかったのですか。 「学舎」間の移動手段としては、専用バスの運行や公共交通機関の活用などが考えられますが、バス運転手の確保や経費面など、持続可能な方法となるよう検討していく必要があります。少しでも早く詳細をお伝えすることも大切であると考えていますが、こういった形が良いかをしっかりと引き続き検討していきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。
44	保護者等 (お答え)	通学方法、通学支援について説明してください。(公共交通手段の充実等) 丹後地域の公共交通の充実については、地域の実情を十分踏まえた上で、丹後広域振興局や公共交通機関等をお願いしていきます。
45	保護者等 (お答え)	フレックス学園構想にもとづく新設高校の通学手段についてどのように考えておられますか。通学は自力ですることになりますか。 フレックス学園構想にもとづく新設高校については、スクールバスの導入等は予定していませんが、公共交通機関の充実については、丹後広域振興局や公共交通機関等をお願いしていきます。
46	保護者等 (お答え)	各校・各学舎のクラス数、定員数などの発表はいつ頃になりますか。 平成32年度の各校、各「学舎」の募集定員は、平成31年8月末に決定、公表します。
47	保護者等 (お答え)	自分が高校受験をした時は、〇〇高校〇〇科を受験し、私立高校を第2希望としました。今日の説明は、公立高校のみの進路選択の方法、志望方法だったと思います。私立高校を第2順位に入れたりもできるのでしょうか。また、丹後以外の例えば、福知山等の志望を視野に入れた場合、どうなりますか。入試の回答方法は自由記入ですか、マークシートですか。 私立高校はそれぞれの高校に志願するので、第2順位にはできません。現在の公立高等学校入学者選抜制度の詳細については、在籍されている中学校にお問い合わせください。
48	保護者等 (お答え)	フレックス学園構想にもとづく新設高校の予定生徒数と教員数を教えてください。 フレックス学園構想にもとづく新設高校の募集定員は90名程度を想定していますが、正式には平成31年8月に決定・公表します。
49	保護者等 (お答え)	フレックス学園構想にもとづく新設高校は京都府全域から受検可能ということですか。 京都フレックス学園構想にもとづく新設高校は府内どこからでも志願できる予定です。募集定員や通学圏などの選抜要項は平成31年8月末に決定、公表します。

No.	質問者	質問内容
50	保護者等 (お答え)	フレックス学園構想にもとづく新設高校の特別入学者選抜（2月）の具体的なことについては、いつ頃わかりますか。（前期選抜とどう違うかなど） 平成32年度選抜における特別入学者選抜については平成31年8月末に決定、公表しますが、平成31年度選抜（現中学3年生の高校入学者選抜）を参考にしてください。公立高等学校入学者選抜については、それぞれ在籍されている中学校にお問い合わせください。
51	生徒 保護者等 (お答え)	フレックス学園構想にもとづく新設高校の選抜方法は、「特別入学者選抜のみとなり従来の前期、中期、後期選抜はなくなる」可能性があるということですか。 現行の入学者選抜制度では、中期選抜での全日制課程と定時制課程の併願は認めていません。平成32年度入学者選抜における京都フレックス学園構想にもとづく新設高校は、特別入学者選抜を実施する予定としていますが、中期選抜、後期選抜の実施については現在検討中です。正式には、平成31年8月末に決定・公表します。
52	保護者等 (お答え)	受検のとき志望先として、〇〇高校(宮津学舎普通科)、〇〇高校(宮津学舎建築科)、〇〇高校(加悦谷学舎普通科)と書けますか。 中期選抜において複数の学校・学科を志望することができます。「学舎」導入校については、「学舎」ごとに入学者選抜を行いますので、第1志望第1順位、第2順位、第2志望でそれぞれの「学舎」の学科を志望することは可能です。
53	生徒 (お答え)	学舎ごとに入試の問題は違うのですか。 現行の入学者選抜制度と基本的には大きな変更はありません。「学舎」導入校については、「学舎」ごとに入学者選抜を行います。正式には、平成31年8月末に決定・公表します。
54	保護者等 (お答え)	なぜ「地元地域以外からの入学募集定員50%以内」を撤廃されるのでしょうか。地元の子どもの入学しにくくなると、他の地域へ行かなければなりません。何人も子どもがいる家庭ではとても不安と負担になります。 本人が意欲を持って志望し、入学者選抜において合格の範囲内であるにもかかわらず、「学区以外から入学することができる者は、定員の50%以内」の規定により不合格になるケースがある中で、中学生が個々の興味や希望に応じて学校、学舎をより主体的に選択できるようにするために普通科の学区を廃止することとします。平成32年度からの新しい丹後の府立高校のカタチとして、それぞれが丹後にある高校として特色ある教育活動を展開していきます。
55	保護者等 (お答え)	説明ビデオを、ホームページなどで視聴することができますか。 京都府教育委員会高校教育課のホームページでご覧いただけるようにします。
56	保護者等 (お答え)	現在未定の点については、決定した後に説明会を実施されるのでしょうか。また、実施は、いつ頃になりますか。 今回のような説明会については、例年6月に行われている丹後府立高校合同説明会が次の機会となると考えています。必要に応じて資料を配布するなどお知らせするよう努めてまいります。なお、京都フレックス学園構想にもとづく新設高校につきましては、別途、説明会の実施を検討しています。
57	保護者等 (お答え)	オープンスクール等は学舎ごとに行われますか。フレックス学園構想にもとづく新設高校でのオープンスクール等はどのようなスタイルで行われますか。 現在検討中です。 決定次第、広くお知らせします。
58	保護者等 (お答え)	校名はいつ誰が決めるのですか。アンケートの結果からすれば宮津高校、網野高校の名前が残るような感じですが、組織的に投票された結果のような気がします。誰もが納得できる校名にしてください。 京都府教育委員会として校名案を決定し、今年度中には公表する予定です。最終的には京都府議会にて決定されます。

No.	質問者	質問内容
59	生徒 保護者等	制服、体操服の決定や周知はいつ頃される予定ですか。
	(お答え)	現在「学舎」導入校では制服、体操服を統一することで検討しています。フレックス学園構想にもとづく新設高校も含め、決定次第、広くお知らせします。
60	保護者等	学舎になると制服、体操服を統一するとありましたが、それまでに入学した生徒はどうなりますか。
	(お答え)	平成32年度からの「学舎」導入校から制服、体操服等を統一するもので、平成31年度までに入学した生徒については、現行の高校に在籍しますので、現行の制服等を着用することとなります。
61	保護者等	新設高校はどこにできるのですか。紹介された高校とは別にできるのですか。
	(お答え)	京都フレックス学園構想にもとづく新設高校は、現在の峰山高校弥栄分校に、現在の施設・設備を活用しながら、新しい校舎も建て、設置します。「学舎」導入校については、現在の宮津高校、加悦谷高校、網野高校、久美浜高校の施設・設備を学舎として活用します。
62	保護者等	フレックス学園構想にもとづく新設高校では、校舎はいつごろ完成しますか。清明高校のように施設・設備を整えられるのでしょうか。
	(お答え)	既存棟の校舎改修や新設棟の建設は、平成31年度中に完成する予定です。その他、フレックス学園構想にもとづいた教育活動が行えるよう備品等の整備についても努めてまいります。
63	保護者等	フレックス学園構想にもとづく新設高校の開校から2年間については、同じ校舎に弥栄分校の生徒と新設高校の生徒が通うことになるのでしょうか。どのように校舎を使い分ける予定なのか教えてください。
	(お答え)	併置の2年間については、既存の施設・設備と新たに新設される施設・設備を現弥栄分校と京都フレックス学園構想にもとづく新設高校とで共有します。
64	保護者等	学舎制は何年間続ける予定ですか。5年～10年で終わるなら、今学舎制にするのではなく、10年後、20年後に統合する方がすっきりすると思いますが、どうですか。
	(お答え)	丹後の府立高校の在り方検討のなかで、アンケートや保護者懇談会等を実施し、様々なご意見をいただきました。そのなかで府教育委員会として、一定の生徒数、教職員数を維持し多様な教育課程を編成することと、通学の利便性にも配慮した「学舎」制を導入することとしました。今後は、その方針のもと、生徒にとってより良い教育環境を整備することに尽力していきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。
65	保護者等	あと1年5ヶ月で再編ですが未定事項が多いのはどうでしょうか。平成32年度にこだわらず、学習指導要領が新しくなる平成34年度からに延期されてはいかがでしょうか。なぜ32年度にこだわっておられるのか教えてください。
	(お答え)	少子化が急速に進むなかで、少しでも早く府立高校の教育環境の整備を行うことが必要であると考えているものであり、検討に要する期間やあらかじめ周知する期間を考慮した場合、平成32年度からの実施が最適であると判断いたしました。
66	保護者等	保護者アンケートでは「今のままがよい」が一番多かったのに、一番少なかった「学舎制」にされる意味が分かりません。あのアンケートは何だったのか教えてください。
	(お答え)	平成28年9月実施のアンケートについては、「学舎」制を提案した上で、小・中学校等の保護者の方々からの御意見をいただくため実施したものです。「今後も生徒数が減少する見込みの中、現在の高校の在り方を変えていくこと」について「必要である」「仕方がない」とご回答いただいた方が約75%おられました。一定の規模のある高校がさらに小規模化すると、「高校を今のまま継続していくことは難しくなる」と感じていただいている方は多いと思いますが、一方で、通学の利便性や地域における高校の役割などを考えると、地域に高校を残してほしいというご意見も多くいただきました。そのようなご意見をもとに、多様な教育課程を編成し、将来の地域を支える人材を育成するという高校の役割を果たすため、一定の生徒数、教職員数を維持するとともに、通学の利便性にも配慮して、現在の校舎を利用する「学舎」制を導入することとしました。